

11月22日(月)

不確かな時代の確かな力

聖書朗読 使徒4：11～22

この人が直って、あなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせたナザレ人イエス・キリストの御名によるのです。
使徒4：10

文化の激変。誘拐事件。パンデミック。貿易摩擦。擦り切れた良識。最近のニュースの見出しは砕けた世界の話で満ちています。私たちは自分たちをどのように守るか——あるいは自分の周りの人々とどのように付き合っていくかを尋ね求めているのでしょうか？

使徒4章1節から10節は私たちに、たとえ不確かな時代の中にあっても、クリスチャンは癒しと希望の代行者であることを思い出させます。私たちはどのように隣人を勇気づけ、クリスチャンでない人を真実へと導き、困難の時の必要を満たすかを尋ね求めるべきです。サドカイ人は、ヨハネやペテロが自分たちの身の安全が守られないかもしれないことを承知で人々に教えていることを軽蔑しました。ヨハネやペテロは脅されていたにも関わらず、人々に救いを示し、神様の御力を宣べ伝えたのです。

クリスチャンは、世界の少数派です。そして、みことばの真実や神様の御力を拒絶する声に囲まれています。しかし、私たちは堅く立たなければなりません。使徒たちのように、私たちに世界を創られ（創世記1：1）、イエス様を死から蘇らせ（ヨハネ11：25）、そして私たち一人ひとりを裁かれる（ローマ14：11～12）力強い神様がいます。ヤハウエは与え、守り、私たちに希望をくださいます（Iヨハネ2：17）。私たちはイエス様を世界に宣べ伝える使命と目的を持っているのです。

讃美歌 280

祈り お父様、私たちがあらゆる瞬間にあなたの目的を見ることができるよう、私たちの目を開いてください。私たちにどうすべきか教え、行動する勇気、言うべき言葉、そしてあなたの比類なき力の内にある自信を与えてください。

イエス様の御名により。アーメン。

キム・ファー
テキサス州 アーリントン

今日の力

2021年11月22日～11月28日

翻訳 鈴木 慈久

編集 野口恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月23日(火)

主を求めよ

聖書朗読 使徒17:24~31

これは、神を求めさせるためであって、もし探り求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。確かに、神は、私たちひとりひとりから遠く離れてはおりません。
使徒17:27

子どものころ、私たちはかくれんぼをして遊びました。鬼をそれとなく誘導しつつ、見つかる前に陣地に戻った子どもは、勝ちとなります。

私たちの神様は世界を造り、また私たちにいのちを与えてくださいました。神様は私たちにご自身を探し見付け出すことを望まれ、私たちの子ども時代の遊びとは違って、神様はいつも私たちの手の届くところにおられます。神様を見つけ出すことは、いつも私たちの選択でもあります。今日の聖句では、私たちが神様に手を伸ばし、見いだすこともあると言っています。「もし探り求めるなら神を見いだす」という言葉は有益な結末への希望を与えてくれる言葉です。神様は、私たちの求めが自分から進んで行なうことを望んでいるのです。神様は私たちが神様へと手を伸ばすことを望まれ、そうすれば、私たちと会うことを約束してください。神様は見守り、待っておられます。さあ、私たちから神様に手を伸ばしましょう。神様は希望にあふれています。

自我とは私が恥じ、制御することができず、そして
共に生きることができないものです。
私は自我をキリストの足元に置きました
私が自我を置くと、驚いたことに
神様はその自我を取り、王国の目的のために造り変えられ、
それを私へと返してくださいました、
そうして下さることで、今や私は神様にあって喜び、楽しみ、
満足して生きることのできるものとなりました。
—E・S・ジョーンズ

讃美歌 II192

祈り お父様、私たちが今日、そして毎日、あなたを求め、あなたを見つけることができますように。

イエス様の御名により。アーメン。

デボラ・コファー
ジョージア州 マリエッタ

11月24日(水)

祈りの内にある勝利

聖書朗読 ローマ8:18~30

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。

ローマ8:28

あらゆる機会に神様とつながりを持つとき、祈りの特権について神様に感謝しましょう。詩篇著者が言うように、「苦しみの中に、私が主に呼ばわると、主は私に答えられた。」(詩篇120:1) ヤコブもまた私たちに「義人の祈りは働くと、大きな力があります。」(ヤコブ5:16)と保証してくれます。

祈りのうちに私たちを支えてくださる聖霊の存在に、私たちは感謝しています。使徒パウロは「御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいます。」(ローマ8:26)と書いています。

人生のあらゆる局面において神様に呼びかけることができるのは、私たちがいつでもできる特権です。主は私たちに「わたしの名を呼び求めているわたしの民がみずからへりくだり、祈りをささげ、わたしの顔を慕い求め、その悪い道から立ち返るなら、わたしが親しく天から聞いて、彼らの罪を赦し、彼らの地をいやそう。」(II歴代誌7:14)と保証してくださいます。

讃美歌 310

祈り 全能なる神様にして愛すべきお父様、私たちがあなたの御心にそって生き、物事を行うことができるようにしてくださることを感謝します。私たちの祈りを聞き、答えてくださることに感謝します。

私たちが力づけてくださるイエス様の御名によって。アーメン。

S・ビル・ジメネス
カリフォルニア州 サンフランシスコ

11月25日(木)

死

聖書朗読 ローマ14:7~9

この方こそまさしく神。世々限りなくわれらの神であられる。神は私たちをとこしえに導かれる。
詩篇48:14

「死」という言葉は旧約の中で150回、新約で120回登場します。ヨブは「人が死ぬと、生き返るでしょうか。」(ヨブ14:14)と問いました。「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けること定まっている」(ヘブル9:27)。

聖書の中では、死を経験していない人が二人います。「エノクは神とともに歩んだ。神が彼を取られたので、彼はいなくなった」(創世記5:24)。エリヤは竜巻によって神様の臨在へと直接取り去られました(Ⅱ列王記2:11)。

死によって、私たちの霊は私たちを造られた神様の御許へと還ります。(伝道者の書12:7)。ある有名な伝道者が「死は人を分け隔てしません。それは毎日誰かに、そして誰にでもいつか訪れるのです。」と言ったことがありました。神様が光の中におられるように、光の中を歩くクリスチャンは、死への恐れを持つ必要はないのです(Iヨハネ1:6~7)。

一日の間に私は何度も、自分に「この一日が終わる前に、私は死ぬかもしれないし、あるいは主が再臨されるかもしれない。どちらが最初に来て、私は準備ができているだろう」と言い聞かせています。このことは私の焦点を神様に置き、自分がその日に直面するかもしれないあらゆることを大局的に見る助けになります(マタイ24:42)。クリスチャンは恐れるはずがありません——死ですら私たちを神様の愛から引き離すことはできないのです。

讚美歌 This Is The Day

祈り 親愛なる天のお父様、私があなたの御言葉に焦点を置き、死を覚え続け、あなたの御子の再臨を見ることができるようにお助けください。

イエス様の御名により。アーメン。

ロン・グロス
コロラド州 カノンシティ

11月26日(金)

期待

聖書朗読 Iコリント2:6~12

私たちは、信仰により、御霊によって、義をいただく望みを熱心に抱いているのです。
ガラテヤ5:5

これを想像してみてください。1978年のコマーシャルで、ガラスでできたケチャップの瓶がハンバーガーの上に乗っています(これは絞ることのできるプラスチックが現れる前の時代です)。すると、ハンバーガーの上に置いてあった濃厚なケチャップがハンバーガーの上に流れ落ちます。そこで流れる歌は編曲されたカーリー・サイモンの「Anticipation(期待)」です。夕飯が待ちきれなくなります。

私は期待することが大好きです。色々な楽しいことを想像して旅行や、パーティー、教会や家族のイベントを計画するのが大好きです。期待は喜びの一部分です。私は楽しいことを考えることが好きですが、一番待ち望んでいることは、神様と共に天の御国に入ることなのです。それ以上の喜びはありません。この世の考えは、それとは反対方向に私たちを誘導しようとし、それに逆らって、主に従っていくということは、かなりのチャンレンジでもあります。

私たちの今日の御言葉は、神様が私たちのために用意してくださっているものは、誰も想像したこともないものであると言っています。しかし同時に、神様がこの世の私たちに助けて下さるために御霊を送ってくださっていることも語っています。

私たちは御霊が私たちに助けて下さることを信じましょう。主がどんなときにも御霊によって助けて下さることを確信しましょう。そして、永遠のいのちの恵みを喜んで待ちましょう！

讚美歌 352

祈り 主よ、あなたが私たちのために用意してくださったものを経験できる時を、私は期待したいと思います。私自身自身の肉体的な面よりも霊的な面により深く関心を抱くことができるようにお助けください。

イエス様の御名により。アーメン。

シンシア・スザーリン
アーカンソー州 クイットマン

11月27日(土)

次へ伝える

聖書朗読 IIコリント1:3~7

私たちの主イエス・キリストの父なる神、慈愛の父、すべての慰めの神がほめたたえられますように。神は、どのような苦しみのときにも、私たちに慰めてくださいます。こうして、私たちも、自分自身が神から受ける慰めによって、どのような苦しみの中にいる人をも慰めることができるのです。 IIコリント1:3~4

私の携帯電話が鳴りました。画面には、聖書研究のスマールグループのメンバーである女性の名前が出ました。彼女の言葉が早口で入ってきました。

「たった今、生検の結果を受け取って、自分に癌があることが分かったんです。あなたが癌を乗り越えたことがあるのを知っています。どんなことを予測したらいいか、教えてくれますか？ 分からないことがたくさんあるんです。」

私は自分の旅路を彼女に分かち合いました。私が個人的に経験したことと、そして私が「これは悪性腫瘍です。」という言葉聞いたときに、他の人々から学んだことの両方を。何より感謝なことに、彼女は私が励ましたことについてお礼を言ってくれました。

パウロは私たちに、患難や困難には目的があるかもしれないということを思い出させてくれます。神様が患難の存在を許している理由のひとつは、私たちが患難を通じて十分に深い経験を積んで、そこから他の人々を慰めるための同情と助言を引き出すことができるようになるということです。連鎖反応のように、私たちが患難に遭う時、神様が慰めてくださいます。そしてその慰めが私たちの人生の中で働いた時、私たちは今度は他の人々を慰める番なのです。

あなたは患難に遭っていますか？ 困難に出会っていますか？ 心の痛みに直面していますか？ もしそうなら、あなたの経験を神様に使って頂きましょう。あなたは他の誰かを慰め、力づけ、そして祝福することができるでしょう。そして、究極的には、神様に栄光が帰されるのです。

讃美歌 403

祈り あらゆる慰めの神様、私たちが自分の困難や患難を使って他の人々に慰めを運び、あなたに栄光を帰するようにしてください。
イエス様の御名により。アーメン。

サリー・ジェーン・シャンク
オクラホマ州 エドモンド

11月28日(日)

裏切られても

聖書朗読 IIコリント11:16~33

他の人たちは純真な動機からではなく、党派心をもって、キリストを宣べ伝えており、投獄されている私をさらに苦しめるつもりなのです。 ピリピ1:17

パウロは、第2コリント11章の中で、キリストの伝道者であるために耐え忍ばなければならなかった危険を並べています。それらのうちの一つは裏切りです。愛し、信頼した人から裏切られるということほど苦痛に満ちたことは、人生の中にいくつもないでしょう。もしかしたらあなたもその経験を、その苦しみを知っているかもしれないかもしれません。

もし、あなたが裏切られているとしたら、あなたには心強い味方がいます。パウロ、イエス、ダビデ、レア、そして聖書の中のほとんどすべての人間がそのようなことを経験しています。人は、自分の自己中心的な考えから人を裏切ってしまうのです。

裏切られたと思った時、私たちはどうすればよいのでしょうか？ パウロが自分の痛みにどのように対処したかを見るのが助けになるかもしれません。第2テモテ4章16節から17節でパウロは「私の最初の弁明の際には、私を支持する者はだれもなく、みな私を見捨ててしまいました。どうか、彼らがそのためにさばかれることがありませんように。しかし、主は、私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。」と言いました。私たちはここに、二つのことを見ることができます。一つ目に、パウロは赦し、神様にも赦して下さるようお願いしました。二つ目に、パウロは主が自分を決してお見捨てにならないことを知っていました。感謝なことに、神様は私たちに赦す愛を与え、ご自身の誠実な、変わらない臨在をくださるのです。

讃美歌 312

祈り お父様、私たちが自分を赦してほしいとあなたに求めるのと同じように、私たちが赦すことができるように助けてください。私たちが天のお父様の御腕の中に安らぎを見いだすことができますように。私たちのあらゆる失敗にも関わらず私たちを愛して下さることに感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

P・シプレー・メイソン
テキサス州 ラボック